

大府市学童保育連絡協議会とは・・・

## 保護者自ら立ち上げた歴史のある民間学童 (どろんこクラブ、わんぱくクラブ) の協議会

### 歴史

1980年代、共働きの家庭が子どもを預けるところがない！  
保護者自らの手で学童を作ってきた  
支援員探し、場所探し・・・  
1981年どろんこクラブ、1991年わんぱくクラブ発足

大府市の当時8校区すべてに、1つずつ民間学童ができた  
→市連協発足 市内の学童の協力体制が確立した  
☆保育環境、保育内容の充実  
☆支援員の処遇改善  
☆公設学童の設置 の実現のための運動

1994年 公設学童開設  
→しかし 児童館での実施、保育内容の制約、開所時間が短い  
支援員さんが継続雇用されない  
→十分な条件と言えず  
3つの民間(どろんこ、わんぱく、北山かけっこ)は残ることを決める  
その他の学童は、公設学童に利用者が移動

引き続き、市連協は公設学童に保育内容について要望をしてきた  
→専用棟の設置、開所時間延長、障害児の6年生までの受入  
すべての6年生までの受入(県下一番)

現在の大府市  
公設学童と民間学童→保護者にとって「選択肢」があるということ  
保育環境の充実  
民間学童の運営の難しさ

大府市連協の活動目標  
第一に・・・存続していく(短期的な目標)  
第二に・・・公設民営に近い運営状況を目指す(中長期的な目標)

→大府市全体の学童保育について考え、意見してきた

## 会則の第1条

本会は、大府市の学童保育運動の充実、強化を図るため、次の事業を行う。

- ① 学童保育所間の連絡調整
- ② 学童保育充実のための調査、研究
- ③ 学童保育に関する理解を広げる運動
- ④ 学童保育所づくりに対する援助
- ⑤ 学童保育所指導員の研修、待遇改善のための運動
- ⑥ その他、必要な事業

### ①学童保育所間の連絡調整について

- ・ どんろこ、わんぱくの代表父母が集まり、それぞれの活動の報告を毎月行っている
- ・ 説明会の開催の仕方、市への交付金申請の仕方などの確認
- ・ コロナ禍の保育

### ②学童保育充実のための調査、研究

- ・ 県連協や全国連協の主催の学習会や研究集会に参加
- ・ 他市町の放課後児童健全育成事業の実施状況を確認

### ③学童保育に関する理解を広げる運動

- ・ 支援員、保護者、地域で子どもを育てる「共同の保育」の視点
- ・ 地域に愛される学童・・・地域の行事へ参加
- ・ 「児童の健全育成」を促すものである

### ④学童保育所づくりに対する援助

- ・ 放課後クラブが創設されたころ、すでに保育実績のあった民間学童
- ・ キッズクラブがどんろこクラブを視察
- ・ 現在は、放課後クラブと支援員同士の相互交流 →保育の質向上

### ⑤学童保育所指導員の研修、待遇改善のための運動

- ・ 各種研修に参加した場合は参加費補助
- ・ 放課後児童健全育成事業の交付金要綱の毎年の変更点を確認
- ・ 市の放課後クラブ健全育成事業を含む、子育て支援の動向を確認

## <最近の主な出来事>

### 2020 年度

- ① 放課後児童クラブとの支援員同士の相互交流の開始。見に行かせていただいたり、見に来ていただいたりという関係が続いている。
- ② 障害児受入推進事業、障害児受入強化推進事業に関わって、加配が必要だと学童が判断した場合、診断がない場合も、市による児童の観察により、加配が必要だと判断された場合は、補助金の申請ができるようになった。
- ③ 障害児受入強化推進事業の加配対象の考え方を市と相談。対象児童が3名以上の場合は、加配の2人目を申請できると確認することができた。
- ④ コロナ対策応援金 賃借料として市独自の補助 25万円  
コロナ関係の国の補助金も、必要分申請することができた。

### 2021 年度

- ① 育成支援体制強化事業新設→すぐに申請可能に
- ② だろんこ引っ越し物件探し。候補物件の見積もりと市担当者への補助金相談。改修費が高くなりすぎるため、有力な候補が見つからない日々が続く。
- ③ 柴崎議員より、民間学童の役割や賃借料や保育料の減免について、市議会で取り上げていただく。
- ④ 2019 年度 2020 年度 2021 年度 市長懇開催ならず。その間も資料はお送りする。

### 2022 年度

- ① 総会に市長参加。「家賃補助の可能性」
- ② だろんこの引っ越し先が若草町に決まる。
- ③ 放課後児童支援員等処遇改善事業新設→すぐに申請可能に
- ④ 市長懇開催「改修や空調など、応援していきたい」
- ⑤ 大府市放課後児童健全育成事業施設整備費補助金（市独自）の新設

### 2023 年度

- ① 総会に市長参加「民間学童の運営にたいへん関心をよせている」「公設民間それぞれの良い所を緒方位に発揮して、市全体の放課後児童の水準を上げていただきたい」
- ② だろんこ引っ越し12月 環境整備事業（国の施策） 100万円  
施設整備費補助金（大府市独自）190万円
- ③ 市長懇開催「だろんこやわんぱくのような非常に中身の濃い民間が本当に必要。末永く続けていけるように市として努力する。」
- ④ 市長の両クラブの保育見学。

2024 年度

- ① 「常勤支援員を2名以上配置した場合の補助金基準」が新設後すぐに申請可能に
- ② 市連協独自に、巡回アドバイザー（佐藤支援員が担当）を試験的に運用開始  
両クラブを定期的に訪問。児童の観察や相談活動、他団体との連携調整などの役割を担っている。
- ③ 松山教育長が両クラブを見学、総会に参加。
- ④ 市長懇開催。「今後わんぱくについても、そういった問題（移転問題）が起きるということも承知をしているので、一緒に解決をしていきたいと思っている。」
- ⑤ どんごクラブが40周年行事を開催。市長、教育長が来賓として参加。